

※修正箇所は赤色部分

8・人口増へ!米水津からの情報発信

【現状と課題】

米水津地域では、少子高齢化の進展により人口減少が続いています。この影響により地域行事の開催や伝統文化の継承が困難になってきている状況です。

産業面においても、就業者の高齢化と労働力不足が深刻なため、移住者やシニア世代の人材を活用するとともに、移住者の住居や就業先の確保等、生活基盤を整えていく必要があります。

生活基盤や産業面で重要となる「第二浦代トンネル」を含む県道改良事業は平成29年度に着手されました。水産業等の物流の効率化に加えて、道路利用者の安全を確保し、防災においても重要な役割を果たすことから早期の完成が望まれています。また、交流人口の増加と地域の活性化に繋げるため、インターネットやメディア等のあらゆる広報媒体を利用して広く米水津地域の詳細な情報を発信することが必要です。

【これからの基本方針】

- ア 高齢者が地域で安心して暮らせるよう、移動手段である公共交通を確保するとともに、空き家を活用し、移住・定住希望者の住居を確保します。
- イ 移住者や労働意欲旺盛なシニア世代の人材を活用し、労働力不足を解消します。移住者や外国人技能実習生が、地域の祭りや敬老会等に参加することで、国際色あふれる地域コミュニティを形成します。
- ウ 第二浦代トンネルの早期完成と県道色宮港木立線の整備及び佐伯堅田 IC につながる新規バイパス道路の整備について地域住民一体となって要望活動を行います。地域の利便性だけにとどめず、基幹産業の発展、また、観光面まで経済効果を波及させます。
- エ インターネット及びSNSを活用し、地域のニュース、イベント、観光スポット、特産品の情報を発信し、交流人口の拡大を図るとともに、移住・定住希望者に空き家、求人情報などの情報提供を行い、移住しやすい環境を整えます。

【主な取組】

- ア 安心して暮らせる定住の場を確保
 - (ア) 空き家を有効活用した移住・定住希望者の居住先を確保
 - (イ) コミュニティバス（デマンドを含む）を活用した利便性のある公共交通を確保
 - (ウ) 子育て世代、高齢者にやさしい環境を確保
 - (エ) 旧色宮小学校跡地の利活用について調査・研究を推進

イ 労働力の確保

- (ア) 移住者やシニア世代の人材を活用
- (イ) 移住者や外国人技能実習生を含む地域コミュニティの形成
- (ウ) 移住者や外国人技能実習生との交流会の開催
- (エ) 外国人技能実習生が活動の場を広げるための支援

ウ 第二浦代トンネルの整備要望活動の推進

- (ア) 早期完成とアクセス道路交通網の整備要望活動の推進
- (イ) 関連する他地域と連携した要望活動の推進
- (ウ) 地域の利便性、経済、観光等多方面にわたる波及効果

エ 米水津からの情報発信

- (ア) インターネットを利用した情報発信戦略の推進
- (イ) 佐伯市地域おこし協力隊員を配置
- (ウ) 移住・定住希望者に生活環境、求人情報、空き家等の不動産情報を発信
- (エ) 地域の特産品を情報発信し販売網を拡大
- (オ) メディア等を利用して地域の観光、文化、イベントについて情報発信

重点プロジェクト

米水津人口増加プロジェクト

米水津地域の最重要課題である人口減少対策として、移住・定住希望者に空き家バンクなどの情報を発信し移住世帯数の増加を図る。

また、豊かな自然環境を生かしつつ、米水津産品を活用した食観光を推進し、交流人口の増加と地域の活性化を目指します。

【目標指標】

目標内容	基準値 (年度)	目標値 (年度)
	(令和4年度)	(令和9年度)
米水津管内移住世帯数	単年度(5世帯)	累計(30世帯)